



「脚下照顧」

——人みな師なり——のコーナー



『阪神優勝と村上ファンドと因幡の白兎の関係』

巨人の小久保が骨折してしまいました。原監督はななんと成績不振でくすぶっていた実力派ベテラン選手仁志をキャプテン代行に指名しました。今年の巨人は主力がけがで休んでもかわりの伏兵がなぜか大活躍してしまう傾向があるのですが、やはり何か原監督の『愛の法則』が降り注いでいる可能性があります。

私は大の阪神ファンですが、岡田監督の口ぐせでもある『ほらそーやで！』の『選手信頼の法則』とどちらが『天の法則』にマッチしているかが今年のペナントの優勝を左右すると考えています。残念ながら1軍2軍の入れ替え上手な『俺流』は後半戦で選手の精神とともに疲労失速してしまうような気がします。(ドラゴンズファンの方ゴメン！)

さて私の愛する阪神タイガースですが、めでたく村上ファンドの支配から開放されることになりました(拍手！！)。逮捕前の村上氏の会見の『法律の範囲内で金儲けて何が悪いんですか！』の開き直り発言にはあきれてしまいました。女子高生の開き直り文句『他人に迷惑かけてないんだからなにやったら自由でしょ！』と同じ精神構造で止まってしまっている東大出の元官僚。やはり戦後日本は国語算数理科社会は勉強したけど道德の本をほとんど勉強してこなかったことがこの21世紀に来て完全に病理現象になってきていると感じました。そしてそして村上氏の発言で1番あきれたのは、突然の阪神タイガース星野仙一SDへの批判発言「青少年を育てる元野球選手が『天罰下れ！』という言葉を使っちゃいかん。その批判はおかしい！」です。私は思わず『あんたが青少年に1番悪影響与えとるやないか！！』と怒ってしまいました。

多分、青少年のことなんか何も考えていないと思われる村上氏のこの発言の深層心理は『好き勝手に金儲けしている自分が一番恐れているのは世間の目であり天罰である。だからそのウイークポイントを突かないで欲しい』と言うことの現れだと思います。

アメリカの1ドル紙幣の裏側に奇妙なピラミッドの絵が印刷されていることをご存知でしょうか？フリーメーソンというアメリカの宗教的秘結社のマークらしいのです。別にだからどうと言う事はないのですが、もともと資本主義の起こりはとても宗教的で、規律を守り、勤勉で儉約家なプロテスタントの一派から発生したと言われていました。その資本主義を何の宗教的な土台のないまま葬式仏教である日本人が運営するとどうしても最終的にホリエモンや村上氏のような『とっちゃん坊や』が出現してしまうのではないのでしょうか？。ある意味『天罰＝世間の目』と言うものが日本では機能していたほうが良いように思います。

日本人の深層心理に生き続ける神話『因幡の白兎』でウサギは天罰が下り全身の皮を剥ぎ取られ傷口に塩を塗りこまれることとなりますが、たまたま通りかかった大国主の命に助けられます。大国主の命は別名『布袋さん』とも呼ばれ、とても大きな袋を抱えています。袋の中身に関しては色々な学説があるのですが、私の読みではあれは多分、海岸に捨ててあった空き缶の山ではないかとにらんでいます。

自分の為に生きることもとても大切なことですが、長く幸せに生きる為には世のため人のため『天の法則』に合った生き方を少しづつ増やしていきたいものです。

さて『信頼の岡田阪神』VS『愛の原巨人』の最終結末はどう出るのでしょうか？
私は絶対阪神優勝です！自信があります！誰か賭けませんか？1ゲーム差ごとに千円。
こうして人には天罰が下ります(笑)

感謝！羽原篤史

